

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年11月7日

上場会社名 株式会社ゲオディノス 上場取引所 東
 コード番号 4650 URL http://www.geodinos.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 光安 浩二
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉住 実 TEL 011-241-3951
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,151	1.6	110	186.3	29	-	△305	-
25年3月期第2四半期	4,084	△1.4	38	△48.9	△47	-	△69	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△71.96	-
25年3月期第2四半期	△16.21	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	10,119	2,072	20.4	487.08
25年3月期	10,417	2,376	22.8	556.88

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,067百万円 25年3月期 2,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	1.00	1.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	0.3	300	32.6	140	124.0	△210	-	△49.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	4,303,500株	25年3月期	4,303,500株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	59,494株	25年3月期	45,094株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	4,247,390株	25年3月期2Q	4,258,406株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出の持ち直しや各種政策の効果などを背景に、企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、緩やかな景気回復がみられる一方で、消費税増税への動きや電気料金の値上げ、原材料価格の上昇など、国内景気は依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社の経営の基本方針である『人々に《楽しむ》を提供し、明日の幸せをお届けします。』の経営理念のもと、一層の経営の効率化を図り、収益力の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間の売上高は41億51百万円（前年同四半期比1.6%増）、営業利益は1億10百万円（前年同四半期比186.3%増）、経常利益は29百万円（前年同四半期は経常損失47百万円）となり、四半期純損失は減損損失3億52百万円を計上したことにより、3億5百万円（前年同四半期は四半期純損失69百万円）となりました。

当第2四半期累計期間における営業実績をセグメント別に示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同四半期比 (%)
GAME運営部 (千円)	1,623,581	2.2
フィットネス運営部 (千円)	1,201,755	2.7
ボウリング運営部 (千円)	561,478	△2.1
カフェ運営部 (千円)	267,355	△4.4
ディノス施設運営部 (千円)	497,166	5.1
（シネマ） (千円)	(386,996)	(5.6)
（その他） (千円)	(110,169)	(3.3)
合計 (千円)	4,151,337	1.6

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 第1四半期会計期間の組織変更に伴い、カフェ運営部の1店舗をボウリング運営部に変更しております。前年同四半期比については、当該組織変更を反映した前年同四半期の数値を用いております。

3. ディノス施設運営部の（その他）は、土地・建物の賃貸収入等の売上であります。

4. ディノス施設運営部のセグメント内訳は、内部管理上採用している区分によっております。

(GAME運営部)

GAME運営部につきましては、「ゲオパークじょいくる一ず店」の閉店（平成24年11月）等がありましたが、ゲオショップ内のゲームコーナーであるリトルパークの新規出店並びにUFOキャッチャーに代表されるプライズ機の景品を取れやすくすること（原価率重視からペイアウト率重視へ転換）等の施策が効果を上げ始めたこと、太鼓の達人をはじめとする音楽ゲームが好調だったことなどにより、売上高は16億23百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

(フィットネス運営部)

フィットネス運営部につきましては、健康意識の高まりにより、利用者及び会員数が増えたこと、加圧トレーニング導入効果など会費以外の収入が増えたこと、女性専用の「ホットヨガスタジオ ハーティノルベサ（札幌市）」がオープン（平成25年1月）し、店舗数が増えたことなどにより、売上高は12億1百万円（同2.7%増）となりました。

(ボウリング運営部)

ボウリング運営部につきましては、健康増進レジャーとして、ボウリング教室等をシニア層向けに開催したり、プロショップ「ベガ」（ボウリング用品専門店）を3店舗にオープンし、物販収入が増えましたが、今夏の猛暑が影響し、一般客の来場者数が減少したことなどにより、売上高は5億61百万円（同2.1%減）となりました。

(カフェ運営部)

カフェ運営部につきましては、割引クーポンの発行やシニア割引、また飲食のテイクアウト等施策を実施しましたが、業界全体の規制強化の影響を受け、その回復が遅れていること、一部地域における競合店の出店による影響などにより、下げ止まりのきざしはようやく見えはじめたものの、売上高は2億67百万円（同4.4%減）となりました。

(ディノス施設運営部)

ディノス施設運営部につきましては、「シネマ」において、「モンスターズ・ユニバーシティ」、「風立ちぬ」などのヒット作があったこと、ODS（非映画デジタルコンテンツ）の上映作品が増え堅調に推移したこと、また、その入場者数が増え飲食や物販収入が増加したことなどにより、売上高は3億86百万円（同5.6%増）となりました。

「その他」においては、前事業年度に1店舗を飲食店として他社への賃貸物件を増やし（平成24年12月）、不動産賃貸収入が増加したことなどにより、売上高は1億10百万円（同3.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末の総資産は101億19百万円となり、前事業年度末に比べ2億97百万円減少しました。これは主に、現金及び預金等流動資産の増加（前期末比2億27百万円増）がありましたが、建物等有形固定資産の減少（同5億15百万円減）があったことによるものであります。

負債については、80億46百万円となり、前事業年度末に比べ6百万円増加しました。これは主に、1年以内返済予定の長期借入金等流動負債の減少（同2億56百万円減）がありましたが、社債等固定負債の増加（同2億62百万円増）があったことによるものであります。

純資産については、20億72百万円となり、前事業年度末に比べ3億4百万円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少（同3億9百万円減）があったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ2億39百万円増加し、10億39百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、2億86百万円（前年同四半期は1億90百万円の増加）となりました。これは主に、税引前四半期純損失が3億22百万円、利息の支払額が57百万円、その他負債の減少額が45百万円及び法人税等の支払額が30百万円ありましたが、非資金費用である減価償却費が3億95百万円及び減損損失が3億52百万円あったことなどによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、18百万円（前年同四半期は9百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が38百万円ありましたが、投資有価証券の売却による収入が39百万円及び差入保証金の回収による収入が11百万円並びに長期貸付金の回収による収入が11百万円あったことなどによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、64百万円（前年同四半期は1億26百万円の増加）となりました。これは主に、社債の発行による収入が11億69百万円及び短期借入れによる収入が1億円並びに長期借入れによる収入が1億円ありましたが、長期借入金の返済による支出が6億77百万円、短期借入金の返済による支出が2億30百万円、長期未払金の返済による支出が1億81百万円、リース債務の返済による支出が1億70百万円及び社債の償還による支出が1億65百万円あったことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年5月9日に公表しました業績予想を修正しております。詳しくは、本日公表しました「特別損失の計上及び第2四半期業績予想との差異、通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	799,205	1,039,148
売掛金	150,949	125,615
商品及び製品	28,003	39,662
原材料及び貯蔵品	79,703	79,604
その他	140,765	141,981
貸倒引当金	△1,010	△880
流動資産合計	1,197,616	1,425,132
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,818,124	3,409,244
アミューズメント機器(純額)	411,879	368,486
土地	2,699,860	2,680,490
リース資産(純額)	553,177	546,993
その他(純額)	205,333	167,753
有形固定資産合計	7,688,376	7,172,968
無形固定資産	26,374	22,518
投資その他の資産		
差入保証金	1,187,285	1,184,296
その他	289,368	260,019
投資その他の資産合計	1,476,654	1,444,315
固定資産合計	9,191,406	8,639,802
繰延資産	28,113	54,341
資産合計	10,417,135	10,119,277
負債の部		
流動負債		
買掛金	176,930	164,724
短期借入金	130,000	—
1年内償還予定の社債	330,000	522,800
1年内返済予定の長期借入金	1,207,328	1,043,212
1年内返済予定の長期未払金	359,896	316,059
未払法人税等	35,631	23,865
賞与引当金	31,229	38,518
ポイント引当金	7,600	6,600
その他	922,203	828,543
流動負債合計	3,200,818	2,944,323
固定負債		
社債	1,032,000	1,874,200
長期借入金	2,459,515	2,046,511
長期未払金	668,573	522,924
資産除去債務	142,162	139,550
その他	537,334	519,307
固定負債合計	4,839,585	5,102,494
負債合計	8,040,404	8,046,818

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,775	948,775
資本剰余金	1,128,995	1,128,995
利益剰余金	313,651	3,751
自己株式	△20,987	△26,805
株主資本合計	2,370,434	2,054,716
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	989	12,435
評価・換算差額等合計	989	12,435
新株予約権	5,307	5,307
純資産合計	2,376,731	2,072,459
負債純資産合計	10,417,135	10,119,277

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,084,120	4,151,337
売上原価	866,173	922,722
売上総利益	3,217,947	3,228,615
販売費及び一般管理費		
給料	801,075	779,180
賞与引当金繰入額	38,409	38,518
退職給付費用	10,940	10,959
水道光熱費	348,074	338,622
租税公課	34,597	39,738
地代家賃	604,186	600,749
減価償却費	398,013	386,672
修繕維持費	193,916	205,959
その他	750,212	717,918
販売費及び一般管理費合計	3,179,427	3,118,321
営業利益	38,520	110,294
営業外収益		
受取利息	1,752	1,558
受取配当金	1,024	729
アミューズメント機器売却益	—	1,654
受取保険金	1,597	3,402
その他	1,670	1,944
営業外収益合計	6,045	9,288
営業外費用		
支払利息	64,597	53,620
アミューズメント機器処分損	7,094	11,932
その他	20,165	24,661
営業外費用合計	91,857	90,214
経常利益又は経常損失(△)	△47,292	29,368
特別利益		
固定資産売却益	12	—
投資有価証券売却益	4,848	1,229
違約金収入	—	4,340
移転補償金	—	1,597
特別利益合計	4,860	7,166
特別損失		
固定資産除却損	1,408	6,732
減損損失	—	352,154
特別損失合計	1,408	358,887
税引前四半期純損失(△)	△43,841	△322,351
法人税、住民税及び事業税	16,133	15,328
法人税等調整額	9,053	△32,038
法人税等合計	25,186	△16,709
四半期純損失(△)	△69,027	△305,642

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△43,841	△322,351
減価償却費	407,065	395,721
減損損失	—	352,154
株式報酬費用	662	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	250	△130
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,195	7,289
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額 (△は減少)	△139,524	△20,076
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	2,300	△1,000
受取利息及び受取配当金	△2,776	△2,287
支払利息	64,597	53,620
有形固定資産除却損	8,503	15,267
有形固定資産売却損益 (△は益)	△12	1,743
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4,848	△1,229
売上債権の増減額 (△は増加)	10,616	25,333
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△950	△11,560
未収入金の増減額 (△は増加)	5,278	6,387
その他の資産の増減額 (△は増加)	△13,184	△21,421
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,325	△12,205
未払消費税等の増減額 (△は減少)	21,784	△23,611
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△20,872	△14,932
その他の負債の増減額 (△は減少)	△45,057	△45,162
小計	269,512	381,548
利息及び配当金の受取額	1,186	808
利息の支払額	△64,127	△57,370
役員退職慰労金の支払額	—	△8,405
法人税等の支払額	△15,973	△30,507
営業活動によるキャッシュ・フロー	190,597	286,073
投資活動によるキャッシュ・フロー		
長期貸付金の回収による収入	11,463	11,853
投資有価証券の取得による支出	△1,248	△1,234
投資有価証券の売却による収入	10,650	39,082
有形固定資産の取得による支出	△75,143	△38,425
有形固定資産の売却による収入	29,914	4,266
有形固定資産の除却による支出	△85	—
差入保証金の差入による支出	△3,203	△8,148
差入保証金の回収による収入	37,156	11,177
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,503	18,571

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△230,000
長期借入れによる収入	700,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△684,714	△677,120
社債の発行による収入	633,903	1,169,113
社債の償還による支出	△94,000	△165,000
長期未払金の返済による支出	△186,902	△181,114
自己株式の取得による支出	—	△5,817
リース債務の返済による支出	△141,992	△170,540
配当金の支払額	—	△4,221
財務活動によるキャッシュ・フロー	126,293	△64,701
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	326,395	239,943
現金及び現金同等物の期首残高	795,742	799,205
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,122,137	1,039,148

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。